



読書ナビ

おもしろい本みつけた (高学年)



警察署



交番

果樹園

針葉樹林

消防署

病院

高等学校

神社

公園

大学

郵便局

博物館

区役所



世田谷区立図書館

池



- ★ 2008年以前に出版された本から選びました。
- ★ 小学校 4年・5年・6年のみなさんに、ずっと
友だちになってほしい本です。



絵本



木を植えた男	1
クリスマスのまえのばん	1
しっぽのはたらき	1
せかいいち うつくしい ぼくの村	2
せんねんまんねん	2
はせがわくんきらいや	2
また もりへ	3
よあけ	3
喜びの泉 -ターシャ・テューダーと言葉の花束-	3

読み物



ムギと王さま -ファージョン作品集- ③	4
タランと角の王 -プリデイン物語1-	4
銀のほのおの国	4
クワガタクワジ物語	5
二年間の休暇	5
銀河鉄道の夜 -宮沢賢治童話集 II-	5
クマのプーさん プー横丁にたった家	6
星の王子さま	6
森は生きている	6
トムは真夜中の庭で	7
ライオンと魔女 -ナルニア国ものがたり1-	7
グリックの冒険	7
二分間の冒険	8
ぼくのお姉さん	8
モモ	8
1990年 ルドルフとイッパイアッテナ	9
キツネ山の夏休み	9

目次



西の魔女が死んだ……………	10
アルバートおじさんの時間と空間の旅……………	10
ポピー ミミズクの森をぬけて……………	10
雨ふり花 さいた ……………	11
シャーロットのおくりもの……………	11
どろぼうの神さま……………	11
黒い兄弟 <上><下> ……………	12
十二歳……………	12
ぼくらの心霊スポット……………	12
盗まれた記憶の博物館 <上><下> ……………	13
裔を継ぐ者……………	13
ユウキ……………	13
かはたれ - 散在ガ池の河童猫 -	
たそかれ - 不知の物語 - ……………	14
獣の奏者……………	14
2008年 古道具ほんなら堂 ~ちょっと不思議あり~……………	14

戦 争



ひろしまのピカ……………	15
あのころはフリードリヒがいた……………	15
ふたりのイーダ……………	15
【その他戦争の本 6冊】……………	16

そ の 他



視覚ミステリーえほん……………	17
ふるさと 世田谷を語る ……………	17
世界のお母さん マザー・テレサ ……………	17
環八雲ってどんな雲?……………	18
雑木林のコレクション……………	18
ノースウッズの森で……………	18
イヌのいいぶんネコのいいわけ……………	19
いっぽんの鉛筆のむこうに……………	19
ゴッホの絵本 -うずまきぐるぐる-	
ゴーギャンの絵本 -はだしになって- ……………	19



木を植えた男

絵 本



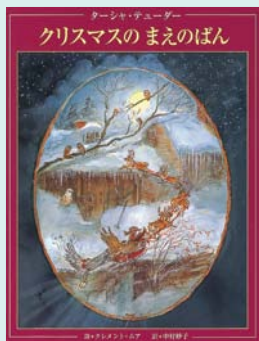
ジャン・ジオノ 原作 フレデリック・バック 絵
寺岡 襄 訳

あすなる書房

ひとりの羊飼いが、2度の戦争のなかでも、木の実を植え続けた。彼の努力は、廃墟を水豊かな土地と村に変えて行った。フランスの荒れはてた大地が、ゆったり静かに変わってゆく。

クリスマスのまえのばん

絵 本



絵★ターシャ・テューダー 詩★クレメント・ムア
訳★中村 妙子

偕成社

クリスマスの前のばん、子どもたちは願いをこめて、だんろの前にくつ下をかける。「サンタクロースはくるかしら…。」すやすや夢を見ているところに、8頭のトナカイに引かれたそりが雪をけたててやってくる。

しっぽのはたらき

絵 本



川田 健 ぶん 数内 正幸 え
今泉 吉典 監修

福音館書店

しっぽ。それは動物によって色も形も役割も違っている。見慣れた動物たちでも、そのしっぽの形は？色は？正確に言える人は少ないはず。

しかし、動物にとって、しっぽは大変重要な役割をはたすもの。

切れてもまたはえてくるのは、だれのしっぽ？



せかいいち うつくしい ぼくの村

絵 本

小林 豊こばやし ゆたか [作・絵]

ポプラ社



パグマン村の春は花でいっぱい。夏、あんずやさくらんぼがたくさんの実をつけたので、ヤモは戦争に行った兄のかわりに町まで売りに行った。町で戦争の話^をを耳にするたび兄^{おも}を想うヤモ。春には兄はきっと元気に帰ってくる。願いをこめて、ヤモは、町で買った羊に「春」という意味のバハールという名前をつけた。

せんねんまんねん

絵 本

詩 まど・みちお 絵 柚木沙弥郎ゆのき さみろう

理論社



赤ちゃんの目を持った 100歳さいの まど・みちおさんの詩。

千年も万年もの 時のながれのなかに、繰り返くり返す宮み。そして 続いていく「いのち」。

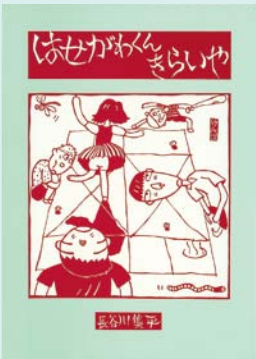
どうぞ この雄大な宇宙ゆうだい うちゅうに おいでなさい。

はせがわくんきらいや

絵 本

長谷川集平はせがわ じゅうへい (著)

復刊ドットコム



「長谷川くんといっしょにおったら、しんどうてかなわん。」「なあ、おばちゃん。なんで長谷川くん、あんなにめちゃくちゃなんや。」

あの子は赤ちゃんの時、ヒ素ヒ素という毒のはいったミルクを飲んだから…。

関西弁と著者自身の手書きの文字が大胆な絵本。



またもりへ

絵 本

マリー・ホール・エッツ ぶん/え まさき・りこやく 福音館書店



男の子が森へ行くと、動物たちが会議をしていた。自分の得意なことをやって、だれが「いちばんいい」か、うでくらべをしようというのだ。いちばんいいと言われたのは、男の子。なぜってそれは、鳥もけものも、森の動物たちはだれもできないことだったから。

男の子の得意なことって何だろう？

よあけ

絵 本

ユリー・シュルヴィッツ 作・画 瀬田貞二 訳 福音館書店



音もなく、くろぐろと、静まりかえった夜明け前の湖のほとり。と、一瞬さざ波がたち、少しずつ、すべてが動きだしていく。時の流れと音の世界を絵で表現した美しい絵本。自分も湖のほとりに立ち、静かに明けゆく光や風を感じるかのように、引きこまれてゆく。

喜びの泉 いずみ

絵 本

ターシャ・テューダー [著] 食野雅子 | 訳 メディアファクトリー



シェークスピアやマーク・トウェインなどの作家の言葉に、ターシャ自身や彼女の孫たちの絵を加えたもの。自然の中で無邪気に遊んでいる子どもたちの絵は、自分も小さな喜びを見つけた気持ちになる。ページをめくって、心に残る言葉や絵を見つけてみよう。



ムギと王さま ファージョン作品集③

読み物

エリナー・ファージョン 作 石井桃子 訳

岩波書店

校長先生の息子ウィリーは、とてもおひとよし。ある日麦畑で、古代エジプトの王と出会い、お父さんとどちらが金持ちか比べあった。怒った王が畑を焼き払ったがウィリーは手に残っていた麦 10 粒を土に埋める。

「ムギと王さま」のほか 27 編のおはなし。



タランと角の王 プリディン物語 1

読み物

ロイド・アリグザンダー (著) 神宮輝夫 訳

評論社

孤児のタランは、予言者ダルベンのもとで平和に暮らしていた。しかし死者の国アヌーブンの力が再びプリディンの人々をおびやかし始めた。戦いにあこがれるタランは、王子ギディオんとともに旅にでる。海神族の少女、吟遊詩人、小人たちも仲間に加わりプリディンを守る戦いが始まる。(全5冊)



銀のほのおの国

読み物

神沢利子 作 堀内誠一 画

福音館書店

はるか昔トナカイ、ウサギ、木ネズミ、トリたちは平和に暮らしていた。そこへ青イヌがやってきて彼らに死をもたらした。3 億回、月の光を浴びて剥製からよみがえったトナカイの英雄「はやて」。

再び青イヌと戦う「はやて」を追って、たかしとゆうこの兄妹は、銀のほのおの国をめざす。



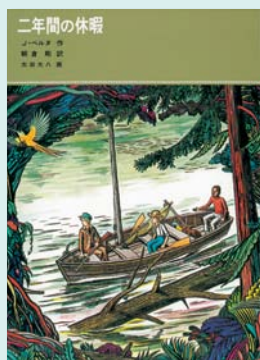
クワガタクワジ物語

読み物

なかしま
中島みち 著

偕成社

たろう
太郎はクワガタが大好き！はじめてつかまえた3
びき
匹のクワガタに、クワイチ、クワジ、クワゾウという
名前をつけ、お母さんといっしょにか
飼うことに。他の
クワガタやカブトムシも加わり、だつそうじけん
脱走事件やバラバラ
じけん
事件、森からお嫁さんが飛んでくるなど、失敗や発見
の毎日。クワジは3年の冬を生きるのだが…。



二年間の休暇

読み物

あさくら 剛
J・ベルヌ 作 朝倉 剛 訳 太田大八 画

福音館書店

航海に参加予定だった8歳から14歳までの15
人の少年たちを乗せた船は、沖に流され、難破して
しまう。無人島へたどり着いた少年たちは、そこで
こんなん
困難を乗り越え生活をしていくことに。少年たちと
いっしょに、ドキドキハラハラぼうけん
冒険しよう。



ぎんがてつどう 銀河鉄道の夜

—みやざきけんじ
—宮沢賢治童話集Ⅱ—

読み物

みやざきけんじ
宮沢賢治〔作〕 かすかべ
春日部たすく 画

岩波書店

ジョバンニは、病気のお母さんと裏町の小さな家
に住み、北の海に出稼ぎに行ったままのお父さんを
待ちながら、でかせ
活版所で働いている。ケンタウル祭の
夜、寂しい気持ちをかか
抱えたジョバンニのもとに、汽
車の音が聞こえてきた。大好きなカンパネルラとと
もに、ぎんがてつどう
銀河鉄道でのそうだい
うちゅう
壮大な宇宙への旅が始まる。



クマのプーさん プー横丁にたった家

読み物

A.A.ミルン 作 いしimoto 石井桃子 訳

岩波書店

知ってる？ どうしてクマにプーと言う名前がついたのか。それは、ハチミツをとろうと長い間風船にぶらさがり、手が固まったので、鼻の先にとまったハエをプーと吹いたから。

おっとりとしたプーさんと、ロバのイーヨたちといっしょにいろいろなことに出会いませんか？



星の王子さま

読み物

サン＝テグジュペリ 作 ないとう 内藤 潤 訳

岩波書店

ぼくが、サハラ砂漠で夜を明かした時に出会ったのは、星を巡ってきた「星の王子さま」。

ちょっとしたいさかいでふるさとの星にのこしてきた、バラの花を思いやる王子さま。本当のものは、目に見えないって、花のもとへ帰ってしまう。

なんだか懐かしい絵。あなたは何に見えますか？

森は生きている

サムイル・マルシャーク 作 湯浅芳子 訳



森は生きている

読み物

サムイル・マルシャーク 作 ゆあさよしこ 湯浅芳子 訳

岩波書店

冬、4月にしか咲かないマツユキ草をさがしてくるよう命じられた女の子は、森に入って行った。

さがし疲れ、だんだん暗くなった森の中で、たき火を囲む1月から12月までの月の妖精と出会う。

ロシアのスラブ民話をもとにしたお話。



トムは真夜中の庭で

読み物

フィリパ・ピアス 作 たかすぎいちろう 高杉一郎 訳

岩波書店

夏休み、トムは弟がはしかにかかったため、おじさんのアパートにあずけられた。外に出してもらえず、たいくつ退屈しきっていたトムは、ある夜、1階にある大時計が13回打つのを聞いた。月明かりで時計をよく見ようと裏口のドアを開けると、そこには、うらぐち昼間はなかったはずの庭園が広がっていた。



ライオンと魔女 まじよ ナルニア国ものがたり1

読み物

C.S.ルイス 作 せ た て い じ 瀬田貞二 訳

岩波書店

ロンドンから、あるお屋敷に疎開してきた4人の子どもたちは、古いたんすから動物と妖精の国ナルニアへ入り込んでしまう。そこは、白い魔女のせいで冬が続いていた。彼らはナルニアに春を取り戻すため、ライオンのアスランとともに白い魔女と戦う。ナルニアに春はやってくるのか。(全7冊)



グリックの冒険 ぼうけん

読み物

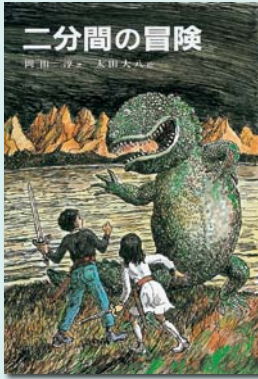
さいとうあつお 斎藤惇夫 作 やぶうちまさゆき 数内正幸 画

岩波書店

シマリスのグリックとのおんのおんは、かごからぬかだして、遠い北の森のシマリスの家をめざす。

畑や川を越え、雪に凍え、ノスリ(鷹)に襲われた時もあるが、はげまし助け合って歩き続ける。

ガンバの冒険シリーズは、このほかに、「冒険者たち」「ガンバとカワウンの冒険」がある。



二分間の冒険

読み物

岡田 淳 著 太田大八 絵

偕成社

そのゲームは、悟が黒ねこ「ダレカ」の见えないトゲを抜いてやったことから始まった。元の世界に戻るには、ゲームの世界でいちばん確かなものの姿をしている「ダレカ」をつかまえないと消えてしまう。3つのヒントをだして消えた「ダレカ」を、悟といっしょにさがしてみよう。



ぼくのお姉さん

読み物

丘 修三 著 かみやしん 絵

偕成社

初めてのお給料で、家族にごちそうしてくれたダウン症のお姉ちゃんの話。『ぼくのお姉さん』自分たちがいじめていたことを正直に言えず、ぼくの心にずっと残ってしまった歯型の話。『歯型』障害のある子どもと、周りの人たちの6つの物語。



モモ

読み物

ミヒャエル・エンデ 作 大島かおり 訳

岩波書店

忙しい忙しい人も街も灰色に乾いてしまった。それは、「時間どろぼう」の男たちのしわざ。

町はずれの円形劇場あとに住む不思議な少女モモは、亀のカシオペアといっしょに、時間の国へ。灰色の男たちから「時間」を取り戻すことができるのか？



ルドルフとイッパイアッテナ

読み物

さいとう ひろし すげうら はんも
斉藤 洋・作 杉浦範茂・絵

講談社

ルドルフは、外国人でも日本人でもない。じつは、字を書ける黒猫である。ひよんなことからトラックに乗って、大きな町に行き着き、トラねこのイッパイアッテナに出会った。ふたり(?)で犬のデビルの悪だくみに立ち向かい、熱い絆が結ばれる。はてさて、ルドルフは故郷へ戻れるか! (全3冊)



キツネ山の夏休み

読み物

とみやす ようこ
富安陽子(著)

あかね書房

夏休み、弥はひとりで、稲荷山に住むおばあちゃんの家に行って来た。そこは108匹のキツネが守るといわれる町。弥は、猫股の「大五郎」に助けられたり、キツネの「オキ丸」と風に乗ったりする。彼らはおばあちゃんの知り合いだというのが…。

まさかおばあちゃんはキツネ?



西の魔女が死んだ

読み物



なしきかほ 梨木香歩 [著]

小学館

グループに入れず、学校がつかなくなった「まい」は、夏休みをおばあちゃんの家ですごす。イギリス人のおばあちゃんは、まいに魔女になる修行をしようとさそう。それは心を強くする修行だった。2年後おばあちゃんは亡くなり、まいは「西の魔女から東の魔女へ」という約束のメッセージを見つける。

アルバートおじさんの時間と空間の旅

読み物



ラッセル・スタナード = 作 おかだよしえ 岡田好恵 = 訳
 ひらのまりこ 平野恵理子 = 絵

くもん出版

アルバートおじさんの姪のゲダンケンという少女が、宇宙船に乗って光を追いかける。人は光に追いつけるのか。

アインシュタインが発見した、そうたいせいりろん 相対性理論をテーマにした内容の SF 冒険物語。(全3冊)

ポピー ミミズクの森をめけて

読み物

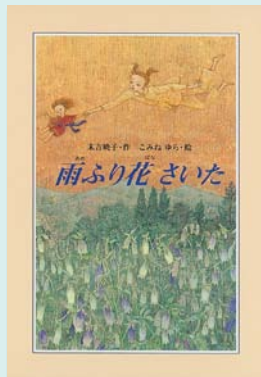


アヴィ 作 B・フロッカ 絵 かねはらみずひと 金原瑞人 訳

あかね書房

ねずみの女の子ポピーが、ミミズクの決めた規則を破ったために、ねずみ一族がピンチに…。

しかし、引越しに反対するミミズクの言葉に「何かおかしい」と感じたポピーは「ミミズクの許しを得ないと入ってはいけない」と言われている森を抜けて、真実を知ろうとする。



あめばな 雨ふり花さいた

すえよしあきこ
末吉暁子・作 こみねゆら・絵

読み物

偕成社

友だちをつくるのが苦手なユカだったが、父と泊まった旅館で座敷わらしの茶茶丸と仲良くなる。茶茶丸が会いたがっている「とりこ」という少女をさがすと約束したユカは、茶茶丸といっしょに風に乗れり、とりこが生きていた時代へ飛ぶ。雨ふり花のさくデンデラ野で茶茶丸とユカのみたものは…。



シャーロットのおくりもの

作 E.B.ホワイト 絵 ガース・ウィリアムズ
訳 さくまゆみこ

読み物

あすなる書房

ファーンの家で生まれた子ブタのウィルバーは、ファーンのおじさんの農場に売られた。農場の納屋でウィルバーは、クモのシャーロットやねずみのテムプルトンたちと友だちになる。クリスマスに、ウィルバーがハムやベーコンにされないようにと、シャーロットは「奇跡」をおこす。



どろぼうの神さま

ホルネーリア・フンケ・著 細井直子・訳

読み物

WAVE出版

どろぼうの神さまの所に「古い木のつばさ」を盗んでほしいという依頼がきた。実はそれは、不思議なうわさを持つメリーゴーランドのライオンのつばさだった。メリーゴーランドに乗って何周かすると、子どもは大人になり、大人は子どもにかえるというのだ。大人と子ども、どっちがいいだろうね？



黒い兄弟〈上〉〈下〉

読み物

リザ・テツナー〔著〕 さかよりしんいち 酒寄進一＝訳

あすなる書房

ジオルジョとアルフレドは煙突掃除夫として売られた。食べものは少ししかもらえず、なぐられる日も。仲間たちを集め、アルフレドは「黒い兄弟」という助け合いの組織そしきを作るが病気で死んでしまう。おかみさんの仕打ちにがまんできなくなったジオルジョは、仲間と国境を越え、スイスへ逃げ出す。

十二歳

読み物

やぶきみちこ 柳月美智子〔著〕

講談社

6年生の4月、鈴木さえは、近い未来みらいの自分にあてて教科書にメモを書く。「今、何してますか？ 何かになれましたか？」ポートボールのこと、好きな先生のこと、友達のこと。たくさん悩みながら、さえは自分なりの答えを見つけ、卒業式をむかえる。

ぼくらの心霊スポット

読み物



あさのあつこ〔作〕

学研

有麗うれい小学校6年生のヒロと同級生のマッキー、かっちゃん、仲良し3人組。ある日、3人が住む有麗村うれいで、村のはずれにあるキタばあさんの家に幽霊ゆうれいが出るという噂うわさが流れる。その噂を聞いた3人は、今は空き家になっているキタばあさんの家へ探検たんけんに行くことに。ちょっとり怖くて不思議な物語。



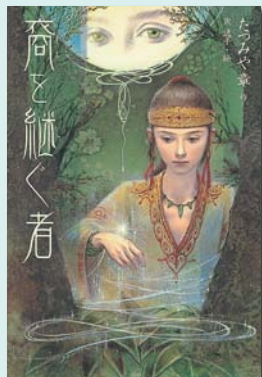
盗まれた記憶の博物館〈上〉〈下〉

読み物

ラルフ・イーザウ 著 さかよりしんいち 酒寄進一 訳

あすなる書房

博物館で夜警をしていた父が、古代の神クセハーノの像といっしょに消えた。父の残した日記から、クセハーノの秘密を見つけた双子の姉弟。ジェシカは日記にかかれた呪文のなぞを解こうとし、オリバーは父をさがすため、クセハーノが支配する失われた記憶たちの国、伝説のクワシニアへ行く。



裔を継ぐ者

読み物

たつみや章 作 あづま いつこ 東 逸子・絵

講談社

「かがやく尾を持つ星の神の息子」の血を引く一族、その長の末息子サザレヒコは、甘やかされて育った。ある日、父にだまって弓矢を持ち出し、神の化身と言われる白いオロチを射てしまう。村を追放され、傷ついたオロチをさがすサザレヒコの長い旅が始まる。(月神シリーズ全4冊・外伝)



ユウキ

読み物

伊藤 遊 作 かみでしんや 上出慎也 画

福音館書店

サッカー好きの少年ケイタが、親しく心をよせた友だちは、ぐうぜんにもみんな「ユウキ」という名前の転校生だった。けれどももいつも、思い出と悲しみを残して、転校していく。そして小学校最後の新学期、ケイタはまた、新しい転校生をむかえることになった。



かはたれ 散在ガ池の河童猫 たそかれ 不知の物語

読み物

朽木 祥作 山内 ふじ江 画

福音館書店

宅地開発で住む場所がせばまっていく河童たち。人間から身を守るため、河童の子ども八寸は猫の姿になって町へ人間観察の修行に行く。『かはたれ』河童の不知は住んでいるプールが壊されることになってもなぜか動こうとしない。八寸は長老から不知を連れ帰る役目をいつつかる。『たそかれ』



けもの そうしや 獣の奏者

読み物

うえはしなほこ
上橋菜穂子(著)

講談社

獣を操る術(奏者の技)。それは災いを招くとして封印されていた。しかし、エリンは、怪我をした王獣を助けようとして、その術を身に着けてしまう。王獣は、けっして人が飼い慣らしてはいけない生き物。それを操る力を持つエリンは、国同士の争いに巻き込まれていくことに。(全4冊)



古道具ほんなら堂 ~ちよっと不思議あり~

読み物

くたぎ あせご ひおき ゆみこ
楠 章子 作 日置由美子 画

毎日新聞社

認知症のおばあちゃんの好きなせっけんをさがす優子。お母さんが死んで悲しくてしかたがない明実。年をとらない少年と出会った波乃。友だちがいじめられているのに助けられなかったさやか。ほんなら堂の橙花さんと出会い、勇気を出して一步をふみ出す。不思議な古道具たちとのおはなし4話。



ひろしまのピカ

戦争



まるき 俊 [文・絵]

小峰書店

その朝、ひろしまの空は、からりとはれて、真夏の太陽はきらきらと照りはじめていました。みいちゃんはおとうさん、おかさんといっしょに、朝ごはんをたべていました。

そのときです、とつぜんピカッとおそろしい光が、つきぬけました。

あのころはフリードリヒがいた

戦争

ハンス・ペーター・リヒター作
上田真由子訳

あのころはフリードリヒがいた

ハンス・ペーター・リヒター 作 上田真由子 訳 岩波書店

ドイツ人のぼくと、ユダヤ人フリードリヒのナチス時代の日常生活を描いた体験記。

一週間違いで生まれたぼくたちが、フリードリヒはユダヤ人と言うだけで迫害され、狂ったような恐ろしい世界に巻き込まれ、命を落としていく。

ぼくの目から見た友の悲劇の日々を淡々と語る。

ふたりのイーダ

松谷みよ子 〇●



まつたに 松谷みよ子 [著] 絵 司 修

戦争

講談社

1945年8月6日、広島に原爆が落とされた日。その日で止まった日めくりのある洋館で、木のイスはずっと小さなイーダが帰ってくるのを待っていた。20数年後、洋館に迷いこんできた直樹とゆう子の兄妹を見て、イスはイーダが帰ってきたと喜ぶ。直樹は本物のイーダのことを調べはじめる。



いま、戦争と平和を考えてみる。

宮沢賢治 太宰 治
 峠 三吉 原 民喜
 永井 隆 林芙美子 (作)

戦争

くもん出版



ガラスのうさぎ

高木敏子・作
 武部本一郎・画

戦争

金の星社



白旗の少女

比嘉富子/著
 依光 隆/絵

戦争

講談社



第八森の子どもたち

エルス・ベルフロム 作
 野城悦子 訳
 ベーター・ファン・ストラテン 画

戦争

福音館書店



**平和の種をまく
 ボスニアの少女エミナ**

写真・文 大塚敦子

戦争

岩崎書店



**すぎはらちゅうね
 杉原千畝物語
 命のビザをありがとう**

杉原幸子・杉原弘樹/著

戦争

金の星社



しかく 視覚ミステリーえほん

その他

ウォルター・ウィック[作] はやしだこういち 林田康一 訳

あすなる書房

「えっ、信じられない!」と、声を上げてしまったり、「どうなってるの?」と、頭をかかえてしまうような写真がこの本にはたくさんっている。

あんまり不思議なので読み終わった後は、自分の目を疑ってしまうかもしれない。



ふるさと世田谷を語る

その他

[本文執筆者] うすいあきこ 臼井明子

世田谷区

このシリーズは、世田谷区を16の地域にわけ、それぞれの土地を解説したもの。世田谷で生まれ育った人々から、村や町の様子、生活状況を聞き、資料や文献をもとに、物語風に編集した。

自分の住む町を、もっと知りたい人のための一冊。



世界のお母さん マザー・テレサ

その他

こばやしまさのり 小林正典[著]

ポプラ社

母親のような愛情を、半世紀にわたって貧しい人々にささげ続けてきたマザー・テレサ。フォトジャーナリストの著者がレンズの中に見えた彼女の愛の実践を記録した。

読み終えた時「愛をもって人に接する」というテレサの言葉が、重みを持って心にせまってくる。



かんぱちくも 環八雲ってどんな雲?

つかもとほるひろ
はなもとひろ
塚本治弘=著

その他

大日本図書

1985年頃から環状8号線の上空に、ちりをしんにした環八雲が発生している。

この雲ができる原因を調べてみると、都市の気候の特徴と、自然や人に与える影響がわかる。

さらに、さまざまな雲を通して、環境汚染の問題に迫っている。



ぞうきばやし 雑木林のコレクション

いまもりみつひこ
今森光彦(著)

その他

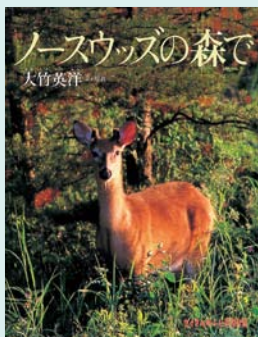
フレーベル館

「たくさんの生き物に出会える」雑木林の魅力を紹介している写真集。

春…めぶきってなに? 夏…だれのしわざ?

秋…食べられる? 冬…不思議な物を見つけた!

雑木林の落ち葉・ぬげがら・足あと・ふん等、四季を通した雑木林の楽しみ方コレクション。



ノースウッズの森で

おおたけひでひろ
大竹英洋 文・写真

その他

福音館書店

野生の生きものに会いたくて、森の中へ入ってみた。彼らと出会うには、木や石のように静かにじっと待っていることが大切なんだ。耳をすましているとカサッ、カサッと葉っぱをふむような音や、フーツと鼻を鳴らすような音が聞こえる。クマのつめあとやオオカミの足あとも見よう。

イヌのいいぶんネコのいいわけ その他

イヌとネコにともだちになってもらう本



写真/植木裕幸^{うえきひろゆき} + 福田豊文^{ふくだとよふみ} 文/なかのひろみ

協力/野矢雅彦^{のまさひこ}

福音館書店

前からイヌ、後ろからネコについて書かれている。イヌとネコたちが語る、本当の気持ちや体のしくみ。知ってるつもりが新しい秘密^{ひみつ}や発見がある。もっともっと親しくなれること請け合い。写真もかわいい。

いっぽんの鉛筆のむこうに その他



谷川俊太郎^{たにがわしゅんたろう} 文 坂井信彦^{さかいのぶひこ} ほか 写真

堀内誠一^{ほりうちせいいち} 絵

福音館書店

私^{わたし}たちが毎日使っている鉛筆^{えんぴつ}。その鉛筆を作るのには、たくさんの人たちが関わっている。鉛筆^{えんぴつ}の材料となる黒鉛^{こくえん}や木をとる人、外国から日本に運ぶ人、加工^{かこう}する人、売^{わた}る人たちがいて、私たちのところ^{わたし}にやってくる。いっぽん^{えんぴつ}の鉛筆のむこうには、たくさん^{えんぴつ}の働く人たちの笑顔がみえる。

ゴッホの絵本 その他

うずまきぐるぐる
ゴッホの絵本 はだしになって
小学館あーとぶっく



構成・文 結城昌子^{ゆづきまさこ}

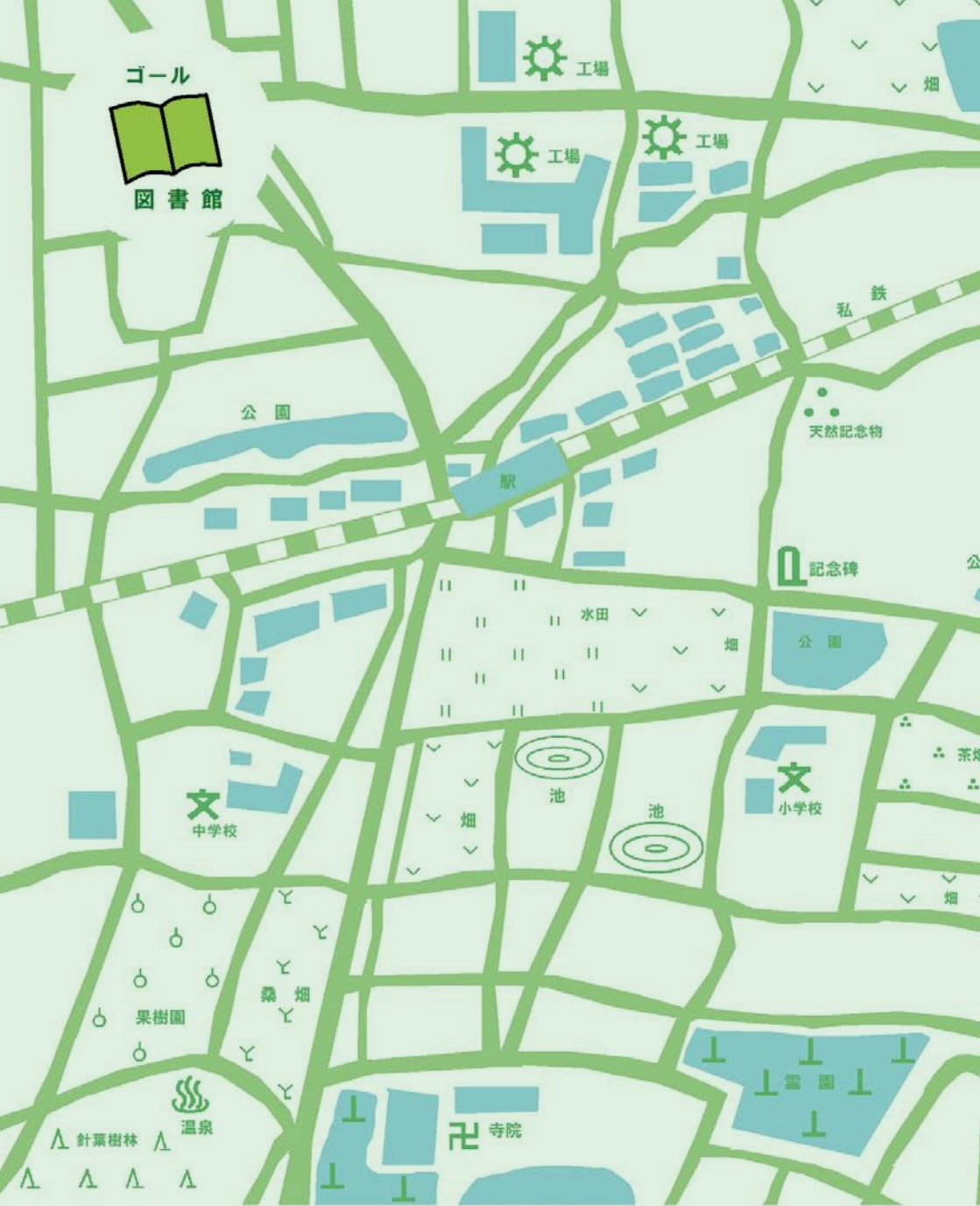
小学館

ゴッホの力強い絵のタッチを「うずまきぐるぐる」。ゴッホのタヒチ時代の絵を「はだしになって」といった言葉^{ことば}を使って紹介^{しょうかい}。名画^{めいが}といっしょにそれぞれの^{とくちょう}特徴を表す言葉も楽しんでみよう。

世田谷区立図書館一覧

図書館名	所在地	電話	F A X
中央図書館	弦 巻3-16-8	3429-1811	3429-7436
梅丘図書館	代 田4-38-10	3323-8261	3328-9417
世田谷図書館	若 林4-22-13	3419-1911	3413-7075
砧図書館	祖師谷3-10-4	3482-2271	3482-4603
奥沢図書館	奥 沢3-47-8	3720-2096	3748-5183
玉川台図書館	玉川台1-6-15	3709-4164	3709-6186
代田図書館	代 田6-34-13	3469-5638	3467-8084
烏山図書館	南烏山6-2-19	3326-3521	3326-9241
下馬図書館	下 馬2-32-1	3418-6531	3424-0076
深沢図書館	深 沢4-33-11	3705-4341	3705-1396
桜丘図書館	桜 丘5-14-1	3439-0741	3439-2923
尾山台図書館	等々力2-17-14	3703-2581	3703-2624
上北沢図書館	上北沢3-8-9	3290-3411	3290-9891
粕谷図書館	粕 谷4-13-6	3305-1661	3305-1664
鎌田図書館	鎌 田3-35-1	3709-6311	3709-6344
経堂図書館	宮 坂3-1-30	5451-0071	5450-1088

<http://libweb.city.setagaya.tokyo.jp/>



2012年3月発行(2017年2月6刷) No.1041

R100
全国の100%の自治体で採用されています